

# 結 果 報 告

大会名	リオデジャネイロオリンピックハンドボール競技 女子アジア予選 愛知・名古屋大会			
競技日	10 月 24 日 ( 土 )	試合	第 2 試合	
種 別	女子	会 場	愛知県体育館	
Aチーム		Bチーム		
ウズベキスタン		韓国		
得点合計	小 計		小 計	得点合計
15	8	前半	30	56
	7	後半	26	

## 【 戦 評 】

記載者氏名

福田 瞬

大会3日目終了時点で暫定順位2位の韓国と、今大会なんとか1勝をものにしたいウズベキスタンとの試合。前の試合の熱気が大勢の観客が見守る中、ウズベキスタンのスローオフで試合開始。韓国は機動力を活かした攻撃的なDFから15番23番5番らの連続速攻で7連取をする。前半7分にウズベキスタンはたまたずタイムアウトを請求し、チームを立て直す。タイムアウト明けの攻撃、ウズベキスタン2番のポストシュートでチーム初得点。その後も5番の連続得点で反撃を仕掛けるも、韓国の勢いが止まらない。ウズベキスタン11番の退場をきっかけにさらに韓国が勢いづく前半20分で22対4とリードする。何とか流れを引き戻したいウズベキスタンは11番の7MT、ミドルシュート4番のカットインで加点するも、韓国15番が前半だけで8得点の活躍をみせ、30対8で前半戦を折り返す。後半メンバーを大幅に入れ替えた韓国は、前半よりも高い位置でウズベキスタンOFにプレッシャーをかけ、速攻やサイドシュートで8連取をする。ウズベキスタンは2番のサイドシュート、6番のカットインで反撃するも、その後の攻撃は韓国GK16番の好セーブに跳ね返される。試合が経過し疲れが見えてきたウズベキスタンに退場者が出たチャンスを韓国は逃さなかった。最後まで足を動かし続けた韓国、韓国の勢いに飲み込まれたウズベキスタン。最終スコアは56対15。